

# マイタウン 2012年11月1日号に掲載

## 胃がん検診について

内科



福本 学

一般的にがん検診の目的は、その病気で命を失う人を一人でも減らすことと、負担や費用の少ない治療で病気が治る人を増やすことです。これまでの胃がん検診は主にバリウムを使ったX線検査が行われ、できるだけ早い時期のがんを見つけ出すための努力が積み重ねられてきました。

前回書いたように、胃にピロリ菌が感染し、萎縮性胃炎のある人は胃がんができるリスクが高く、一方一度も感染歴がない人はリスクが低いことがわかっていきます。

リスクの低い対象者にも一律にX線検査を行うことは再考するべきだとの意見があります。リスクを加味した検診の方法が現在、各地域や職域で検討されていますが、有効性の評価などに課題があり、最善の検診方法の結論は出ていません。

自分のリスクを知り、高い場合には、年に1回胃の検査を受けられることをおすすめします。

内科

新百合山手福本内科

☎ 955-8877

麻生区万福寺 6-7-2

メディカルモリノビル 2F

<http://www.fukumotonaika.jp>

